

令和4年度第1回周南市ごみ対策推進審議会議事録

1. 日 時	令和4年8月18日（木曜日）10時～11時35分
2. 場 所	周南市役所 1階多目的室
3. 出席者	（委員17人） 赤木 真由、池田 光優、佐守 広志、西 俊明、船井 辰朗、山崎 信枝、 加藤 洋、磯村 孝、上田 豊、亀谷 ケイ子、鎌田 昌子、佐々木 哲子、 松井 和江、有國 美恵子、住谷 博志、村井 宏輔、山村 満昭 （事務局6人） （傍聴者1人）
4. 議 事	(1) 周南市のごみ排出量（令和3年度速報値）について
5. その他	(1) 家庭ごみ搬入受付センター利用方法の一部変更について (2) 今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

- 委嘱状の交付
- 市長挨拶
- 委員の自己紹介
- 事務局の紹介

（事務局）

出席者数、欠席者数と会議の成立を報告（出席委員17名、欠席委員1名）

- 会長・副会長の選出
- 会長挨拶
- 副会長挨拶

- 議事

議事1 周南市のごみ排出量（令和3年度速報値）について

（議長）

議事1、「周南市のごみ排出量（令和3年度速報値）について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

- 令和3年度速報値の報告に先立ち、令和2年3月に策定した、周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（後期計画）について、概要版を基に説明。

- 別紙資料1-1～資料1-6を基に、ごみの排出量の計画値と実績（速報値）の比較について説明。
【概要】総排出量は概ね計画通りだが、種類ごとにみると、目標を達成できていない状況。
- 別紙資料2-1と資料2-2を基に、ごみの排出量の実績と推移について説明。
また、参考資料として、一人一日あたり及び一世帯一日あたりのごみ排出量の推移について説明。
【概要】コロナ禍の影響により、前年度（令和2年度）は増加していた片付けごみ等の不燃ごみ・粗大ごみが平年並みに減少。資源団体回収はコロナ禍で十分な活動が行えなかったため引き続き減少。総排出量及び家庭ごみ一人一日あたりの排出量は減少。増加させることが目標の資源物や資源団体回収も減少。
- 別紙参考資料4ページと参考資料5ページを基に、再資源化の推移について説明。
【概要】ごみの総排出量が減少傾向であり、資源化量についても減少している。トータルでのリサイクル率は減少。種類別にみると増加している項目もあるが、減少している品目が多いことから、資源となるごみの正しい分別について、引き続き啓発が必要。
- 別紙参考資料6ページを基に、最終処分量の推移について説明。
【概要】ごみの総排出量が減少しているが、埋立量は微増。原因として、前年度より焼却残渣（灰）の埋立が増えており、焼却施設を運営する一部事務組合に確認したところ、可燃ごみの中に土や砂の混入が多くなった場合に灰が増加する可能性がある、とのこと。庭の草抜き等で根に付いた土や砂を十分に落とし、ごみに捨てるよう、啓発が必要。
- 別紙ごみの減量化・再資源化の啓発に関する取り組みについてを基に、令和3年度中に行った啓発活動について説明。
【概要】環境館での3R啓発の取り組み、正しいごみの分別に関する市広報やケーブルテレビ、チラシ等での啓発など

(議長)

事務局からの説明・内容に対して、委員の皆さんからご意見・ご質問何でも結構なのでお願いします。

(委員)

ごみステーションに長い間ごみが放置されている事例があります。おそらく、他地域の方が分別せずに捨てていくことなどが多いと思います。地区にはクリーンリーダーもいらっしゃるが、このような問題はどのように解決すればよいでしょうか。

(事務局)

長期間放置されているごみについては、最終的には市で回収させていただきます。ただ、すぐに回収してしまうと、ルールと違うごみでも何でも持って帰ると思われてしまいますので、周知のため、原則として2週間程度は置かさせていただきます。

そのうえで、引き取り手が現れない違反ごみについては、クリーンリーダー等から市の収集担当へご連絡いただければ回収しています。

(委員)

事業系ごみの資源物がH26年度と比較して10%程度と極端に減っているのは何か理由があるのでしょうか。

(事務局)

ごみは法律上、大きく分けて「一般廃棄物」と「産業廃棄物」に分かれています。主に家庭からのごみが一般廃棄物で、事業に伴って出るごみは、主に産業廃棄物です。このうち、市で取り扱うごみは一般廃棄物のみですが、事業所から出るごみにも一般廃棄物に分類されるものがありまして、従業員が昼食等に伴って排出する弁当からやペットボトル・びん・缶などの資源物が、事業系一般廃棄物として取り扱われます。コロナ禍で事業活動が縮小した際に事業系資源物の量が特に大きく減少しておりますが、コロナ禍による影響が落ち着きつつある現状となっても、その量が戻らない理由については詳細な分析ができておりません。

(委員)

ごみの排出量について、周南市が県内他市や全国と比較して多いのか少ないのかということが分かれば良いと思うのですがいかがでしょうか。

(事務局)

他市や全国とのデータ比較についても、可能な範囲でお知らせできるよう検討します。なお、ごみ処理基本計画に記載しているデータによると、H29年度現在のリサイクル率は、同程度の規模(5万人以上25万人以下)の430自治体中、46位という順位でした。全国には80%を超えるリサイクル率の自治体もありますが、本市のリサイクル率は平均よりは上位の自治体ということになります。

(委員)

最近、よく言われている「SDGs(エスディーズ)」について、3Rとどのように対応しているのか、市広報等で分かりやすく説明していただけたらと思います。

(事務局)

SDGsの17項目の内、3Rに対応する項目については、12番目の「つくる責任 つかう責任」、14番目の「海の豊かさを守ろう」が挙げられます。3Rに関連する「つくる責任 つかう責任」については、使用者側の立場に立って、リデュース・リユース・リサイクルの観点からの取り組みを徹底することによって、十分に「つかう責任」を果たしていきましょう、ということを中心に説明していく必要があると考えています。

最近ではリサイクルプラザに施設見学に来た小学生からもSDGsに関する質問をいただくことが多くなっています。引き続き、さらに多くの市民に関心を持っていただけるよう、広報担当とも連携しながら啓発に努めてまいります。

(委員)

ごみ処理経費について、どの部分を減量していけばどの経費が削減される、というような、具体的な取組に対する効果が見えるような形での広報が必要だと思えますがいかがでしょうか。

(事務局)

市民一人ひとりのごみの減量化・再資源化の取り組みが、どのような効果を生むのかということ、できるだけ、わかりやすく伝わるような形での広報活動について検討します。

(委員)

環境館のイベントで、リユース品の抽選会等に参加したことがあるのですが、リユースする品物は、どのように決まるのでしょうか。知人が、家で不要な陶器類があるのでリユース品として出したいという話がありますが可能でしょうか。

(事務局)

環境館で実施しているリユース品抽選会で提供しているものは、皆さんの家庭から粗大ごみとして回収した大型家具等の内、状態の良いものを再利用するという形をとっています。リユースという観点からは、陶器など再利用可能な他のごみについても実施できるのが理想ですが、現在の体制では、ひとつひとつの物品の管理について行き届かない状況であり、リユース品としての受入れは行っていません。全てのごみをリユースして提供できるようにするには、現状では課題があると考えています。

(※追記) 環境館では、現在、不要になった絵本や、学校の制服等を募集しています。これらについては、上記のリユース品抽選会とは別に、リユース品として提供できる機会を設ける予定です。

(委員)

現在、鹿野地区では空き家を利活用した取り組みの一環で、不要になったお皿を安価で譲り受ける等の形で循環しており、そういった市民の取り組みも必要になってくると思います。

(委員)

中山間地域に住む我が家では、生ごみはコンポスト容器を使用して土に還しており、生ごみはごみステーションに出していません。水分が多い生ごみを燃やすにも、相当なエネルギーが必要だと思います。市街地においても、生ごみをごみに出すという生活のあり方を見直すことが大切ではないかと思います。

(事務局)

今お話しいただいた「生ごみをごみに出さない生活をしよう」ということは、ごみの排出抑制を行う「リデュース」の取り組みであり、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の中で最も大事なことであると考えています。生ごみの処理については、全てのお宅に、コンポスト容器を置くスペースや、できた堆肥を利用する畑があるわけではありませんが、ごみの減量化につながるコンポスト化事業の補助制度について、機会を捉えて啓発を図ってまいります。

(委員)

バイオマス燃料については、どの程度活用されているのでしょうか。山に囲まれた生活を送っているので、せっかくあるものを活用した方が良いのではと考えています。

(事務局)

市で収集する家庭ごみを処理するにあたっては、現在バイオマス燃料は使用していません。どのように活用していくかは市として検討課題であると考えています。

(委員)

そもそも、このごみ処理基本計画に基づく目標数値は、何が何でも達成するぞというものなのでしょうか。この審議会自体、形式的なものなのか、委員からアイデアがあれば予算をかけてでも積極的に実現すると強い思いがあってのものなのでしょうか。

(事務局)

目標というものは目標で終わってはいけませんので、成し遂げるという思いで計画を作っております。毎年の進捗はコロナ禍等色々な状況もあり、変動はありますが、基本的な姿勢としては、皆さんに減量・再資源化の意識をしっかりと持たいただくことで、思いとしては目標を達成したいと考えています。

また、この審議会は、市が取り組んでいる計画について皆さんにお知らせすると同時に、計画の進捗状況や今後の計画・方針に関して、各分野から出ていただいている審議会委員の皆さんのご意見を伺う場ですので、審議会の位置付けは大変重いものと考えています。委員の皆さんの気づきやご意見をいただきながら、市と審議会委員が一体となって取り組み、ご意見を反映させていただきたいと思っております。

(議長)

他にご質問はありますか。

(委員)
意見なし。

(議長)
議事1につきましては、終了し、次に移ります。

その他について

(議長)
「その他について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

家庭ごみ搬入受付センター利用方法の一部変更について

- 別添資料「家庭ごみ搬入受付センター利用方法の一部変更について」を基に、10月1日から利用方法が一部変更になる家庭ごみ搬入受付センターの変更内容について説明。

(事務局)

今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

- 別添資料「今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて」を基に、今後の開催予定日や協議内容について説明。

(議長)
事務局から、その他について説明がありました。何かご質問はありますか。

(委員)
意見なし。

(議長)
それでは、議事進行を事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第1回周南市ごみ対策推進審議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。